平成２３年６月７日
国土交通省大隅河川国道事務所

記 者 発 表 資 料

堤防決壊時の緊急対策シミュレーション検討会について

（台風接近のため延期しておりました検討会を下記のとおり行います。）

○目　的

近年、自然災害に伴う大規模な災害が頻発している状況の中、堤防決壊等の緊急対策への取り組みを早期に確立する必要があります。しかしながら、肝属川においては、近年堤防決壊などの大規模な災害が発生していないことから、緊急対策において、課題や問題など共通認識を持ち、迅速かつ確実に対応が出来るよう河川管理者・防災エキスパート・災害協定協力会社等との連携を密にしておく必要があります。

このような状況に鑑み、堤防決壊時の緊急対策シミュレーションを検討し、災害に備えるため意見交換を行うものです。

同時に、大隅河川国道事務所の災害協定に基づく要請により、今回東日本大震災における支援活動を実施された２社からの報告を併せて行います。

○日　時

平成２３年６月１４日（火）　　１３：２０～１６：３０
（※１３：００よりＤＶＤ放映）

○場　所

大隅河川国道事務所（３階大会議室）

○内　容

・事務所長あいさつ　　１３：２０～１３：３０
・東日本大震災支援報告「吉留組」「肝付土建」　１３：３０～１４：００
・堤防決壊時の緊急対策ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ検討会　　１４：００～１６：３０
「大隅河川国道事務所」「災害協定協力会社１５社」「防災ｴｷｽﾊﾟｰﾄ」

○シミュレーション検討内容

別紙－１

※　天候次第では再度延期する場合もありますので、その際には皆様に事前にお知らせします。

記者発表に関する問い合わせ先

国土交通省　九州地方整備局　大隅河川国道事務所
副　所　長　榎　田　範　男
工務第一課長　池　田　康　志
広報担当　建設専門官　安　達　正　敏
鹿児島県肝属郡肝付町新富１０１３－１
電話（０９９４）６５－２５４１

別紙－１

堤防決壊時の緊急対策シミュレーション検討会（案）

日 時 ： 平 成 ２ ３ 年 ６ 月 １ ４ 日
場所：大隅河川国道事務所３Ｆ会議室

○次　第

１．事務所長挨拶	１３：２０～
２．東日本大震災に伴う支援報告「吉留組」「肝付土建」	１３：３０～
３．検討会の趣旨及びシミュレーション概要説明	１４：００～
４．堤防決壊シミュレーション検討会の実施	１４：１０～
５．班代表の検討結果発表	１６：００～
６．質疑応答	１６：２０～１６：３０

○検討会の進め方のポイント

平成２３年度は「肝属川５ｋ８００左岸（大坪地区）」を堤防決壊箇所と想定し、堤防決壊時の緊急対策シミュレーション（対策工法の検討など）を実施します。シミュレーションによる結果・課題等を踏まえ、意見交換を行い今後の災害時の対応に備えます。

1)緊急時においては、検討時間の制限、即対応となることが想定されるため、対策工法（案）に対して現地の現状（堤防天端の幅員や搬入ルート、資機材の調達、搬入などの問題点）を考慮した施工方法・工期等について、工事経験のある企業および防災エキスパート参加による検討を行い関係者共有の情報とします。

2)高山、鹿屋出張所管内の各班「ワークショップ形式」で検討を進め意見を出やすくします。

班長は出張所長とし、各班の中で書記、発表者を選出し「まとめの発表」後、質疑応答により、総括的な意見交換を実施します。

また肝属川水防図を用いて、堤防天端の幅員が狭い箇所（クレーン等による工法時に天端拡幅が必要となるのか）や資材搬入時に支障となる物件（橋梁）など付箋紙に記載してもらい、後日場所の確認把握を行う資料とします。

写真1)ワークショップ形式で検討している様子

3)鹿児島県と大隅河川国道事務所共同で作成している浸水時緊急輸送経路図（浸水区域図からの想定）を用いて、企業の所在地、資材置き場、リース企業、採石企業などから、想定した堤防決壊場所へ対策工法に伴う資機材・人員をどの様に運ぶべきなのかをシミュレーションします。

また、上記の資機材等の蓄積資料図面以外の情報を収集し、図面等に再整理（付箋等で書き込む）を行い、関係者間の情報の共有を図るものとし、災害対策等の今後の基礎資料とします。